

テーマ① 資料提供の工夫

お持ち帰りフリーペーパーコーナー

山陽小野田市立中央図書館



フリーペーパー「もってけ!」や「Yellow Book」、「マイカラー」、ハローワークの求人情報など、山陽小野田市周辺のグルメ、観光案内、不動産情報、求人情報などが掲載されたフリーペーパーを玄関付近に設置、お持ち帰り自由のコーナーにしています。

闘病記文庫

山陽小野田市立中央図書館



疾病別に闘病記の本を独自に分類して並べています。市外からの見学もあり関心の高いコーナーの一つとなっています。

テーマ① 資料提供の工夫

医療パンフレットコーナー

山陽小野田市立中央図書館



市民の関心の高い健康・医療情報のパンフレットをまとめて置いています。お持ち帰り自由です。

テーマ① 資料提供の工夫

緩和ケアコーナー

山陽小野田市立中央図書館



山陽小野田市立中央図書館では、「健康情報棚」のコーナーに健康・医療関係の資料を置いていますが、その中に「緩和ケアコーナー」を設けています。

文庫本コーナーの表紙見せ

山陽小野田市立中央図書館



壁際の一角を占めるノンフィクションの文庫本のコーナーの棚一段をすべて面出し専用に使いました。この結果、本がよく貸し出されるようになりました。

「旅行・地図・ガイド」コーナー

山陽小野田市立中央図書館



どこの図書館にもあるコーナーですが、県内外の観光パンフレットを取り寄せて提供しているところに特徴があります。最近では、温泉の効用が話題となった俵山温泉のパンフレットも取り寄せました。パンフレットはお持ち帰りOKです。

東日本大震災関連図書コーナー

山陽小野田市立中央図書館



3. 11の東日本大震災の直後から常設展示。最近では関連コミックも収集し展示しています。貸出OK。

図書館職員によるおすすめ本紹介コーナー & 新聞社との連携

長門市立図書館



利用者のおすすめ本コーナー（本のひろば）は開館当初からあったが、「職員も一利用者としておすすめ本を紹介していいかどうか？」ということから、平成23年度より“図書館職員が選ぶ勝手にこの1冊”コーナーを開設。すると、このコーナーを見た地元新聞社より「毎月1回紙面で本を紹介してもらいたい」という話にまでなり、現在、紙面での連載3年目に突入。

新聞やこのコーナーをご覧になった方からの問い合わせも寄せられ、皆さん楽しみ？にされているよう…。

所蔵している図書を紹介することが条件なので、必ず、この本を読むことができる！

職員による自由研究アイデアカード作成

長門市立図書館



毎年、夏休み時期には「自由研究特設コーナー」を設置していたが、今年度はそこに新たに図書館職員が提案する「自由研究カード」なるものを作成し置いてみた。

1テーマに4～6冊程度の本を紹介。すべて図書館所蔵の本で調べられるとあって、まずまずの反響。

自由研究の本からテーマを決める人あり、アイデアカードを手に本を調べる人あり！こんな本があったんだ、という新たな発見もあって本と人を繋ぐ一つの手段として実施。

いつもいっしょ 本といっしょ

田布施町立田布施図書館



いつもいっしょ、本といっしょ
こどもの読書週間によせて、おすすめの児童図書を
玄関中央の展示台にディスプレイ。

“本がすき この町がすき” 田布施町子ども読書活動の推進とともに
よい本との出会いがありますように…。

夢を育む

田布施町立田布施図書館



地域の企業、創業60周年記念のご厚志により贈られた児童図書を
玄関中央の展示台にディスプレイ。

寄贈していただいた多くの良書が、あたたかい志とともに
子ども達の未来にきっと大きな夢や希望を届けてくれる。

明るい色の見出しで点字絵本を紹介

萩市立萩図書館 わくわく子ども図書館



子ども図書館の一角に点字絵本のコーナーを作った。
子どもたちにわかりやすいように本の形をかたどり、ピンク色で表示した。
本は面見せで展示し、利用者の目に留まりやすくした。
閲覧や、貸出が多かった。

作って、飾って、絵本の世界へ！

萩市立萩図書館

子どもたちが描いたものを壁面に展示

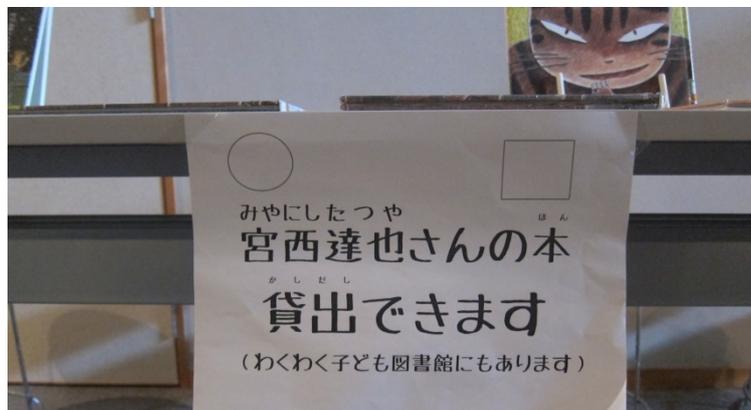


子どもたちが興味を持ちやすいように目の届く場所に設置

絵本を題材に子ども図書館の壁面作りをした。壁面を通じて絵本に興味をもってもらえたらいいなと考えて、壁面下には題材にした絵本を展示して貸出ができるようにした。また見るだけでなく、子ども達も参加できるように工作コーナーを設けた。小さい子どもでもできるようなものを用意し、自由参加で作ってくれた子ども達の作品も壁面に飾り、壁面が完成していくような形をとった。子ども達はとても喜んで参加し、作った後も「私が作ったのここにある！」と満足そうに見て帰る姿も見られた。

アニメ上映会で関連絵本を展示

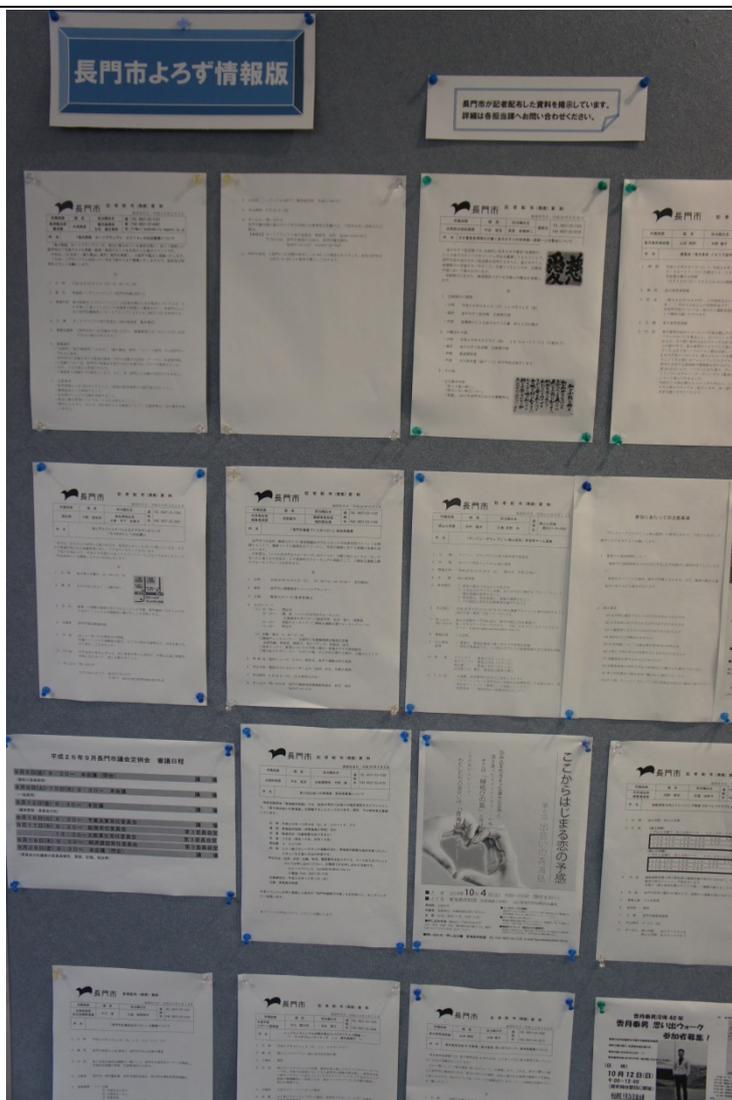
萩市立萩図書館



夏休み期間中に行ったアニメ上映会『おまえ、うまそうだな』の会場に宮西達也さん作の関連絵本を数冊展示した。
案内表示を作り、子どもたちが手に取りやすくした。
上映後に、子どもたちは興味をもってくれ、保護者と共に絵本を読んでいた。
子どもたちが絵本に興味をもってくれるきっかけになった。

記者配布資料の収集

長門市立図書館



市の広報広聴課から出される「記者配布資料」を掲示。
イベントの開催等は新聞等でも知らされるが、いち早く市の情報を提供できると考え、館内に掲示。
市がどのような取り組みをしているかわかるとあって、利用者にも好評。
掲示した資料は郷土資料として保存し、活用。
数十年後には貴重な郷土資料として活用できるのではないかと考えている。

季節に合わせてお出迎え

下松市立図書館



移動図書館車「あおぞら号」では、おりがみなどで作った作品たちがお出迎え。
作り方が掲載されている本も、併せて紹介。
バスの中が季節に合わせて変化していきます。
あおぞら号を利用している、子どもたちだけでなく、大人も楽しみにしてくれています。

来館者の癒し、プラティの水槽

山陽小野田市立中央図書館



玄関を入って近いところ、「児童コーナー」の入り口に、熱帯魚プラティの水槽があります。子どもたちの人気を博しており、また館内の癒しのスポットともなっています。

利用者の手作り作品でお出迎え

長門市立図書館



カウンター周辺は、利用者の手作り作品で大賑わい。
夏にはモビールが飾られ、冬にはタペストリー等が持ち寄られる等、利用者の目を楽しませてくれている。

職員をはじめ、小学生から大人まで、多くの人々の作品が所狭しと並んでいる。
いつ作品が入れ替わるかは、来館してからの楽しみ！
作品を通して利用者と職員のコミュニケーションが図られるなど、和やかな雰囲気を出してくれている。

日本の発展に尽くした萩の先人たちクイズ

萩市立萩図書館



人物紹介と関連書籍を1枚のリーフレットにまとめ、自由に持って帰られるようにした。

関連DVDの上映やCDの視聴ができるようにした



萩市に関する人物を関連する本と共に紹介し、それぞれ展示に関連している人物のクイズを行なった。第1弾は「近代日本を拓いた萩の先人たち」第2弾は「近代日本の発展に尽くした萩の先人たち」。1弾目では、クイズを子ども向けの初級編・大人向けの上級編に分け、問題用紙のそばに関連書籍を置き、自分で調べてクイズを解けるようにした。2弾目では、クイズを小学生以下・中学生以上編に分け、パネルを見ながらクイズを解く形式にした。

子どもたちに調べる楽しさと萩の偉人たちを知ってもらおうきっかけになった。

渡辺翁記念文化協会「絵本文庫」

宇部市立図書館



渡辺翁記念文化協会「絵本文庫」のセットの一例。

市内幼稚園・保育園の幼児を対象とした読み聞かせのための貸出文庫です。平成 18 年渡辺翁記念文化協会から子どもの読書活動支援のための一助として、寄附金をいただいたことから創設されました。ロングセラーの読み聞かせ絵本や科学絵本、行事向けや赤ちゃん向けなど、バラエティ豊かな 20 冊を 1 セットにして 70 セットを用意し、毎年セット内容を変えるなどして、多くの園に御利用いただいています。

また、セット貸出終了後は、通常貸出用の図書として、より多くの方々に御利用いただいています。

図書館のお得な情報満載『本びより』

下松市立図書館

レファレンス・コーナー

分類番号、なに？

図書館には、たくさんのお本があるので、本を探しやすいように、日本十進分類法というルールにしたがって内容のグループごとに整理されています。皆さんも右のラベルが本の背に見られているのを見たことがあるのではないのでしょうか。このラベルの1段目に書かれている数字が分類番号です。左端の数字で、本は内容ごとに0～9の10グループに分けられ、この「9」は文学のグループであることを示しています。この他のグループは、「0」は総記、「1」は哲学、「2」は歴史、「3」は社会科学、「4」は自然科学、「5」は技術、「6」は産業、「7」は美術、「8」は言語となっています。



今回のハテナ？

最近、村岡花子のことについて、もっと知りたい！と思っている人が多いようです。おススメするこの本は、おばあちや交友関係にもあつたこと、おばあちの死という試練から、子どもたちのために良き文学を届けようという「家庭文学の権威」として、自分の使命を得た花子が、どんなことを思い、どんな本を変えていったのか、今を生きる私達にも強く伝わる内容となっています。また、花子の主な著作の紹介や、少佐たちに贈ったブックレビューが様々な写真とともに紹介されているので、ここでは、是非、花子の世界を覗いてみてはいかがでしょうか？



『村岡花子の世界』 村岡典理 河出書房新社(910.2/ムラ)

あおぞら号リポート

Vol.2

移動の図書館車「あおぞら号」は、市内の幼稚園や保育園にも巡回するんですよ！江の島幼稚園さん(東園)もそのひとつです。園児さんたちがいつもとても元気な「あおぞら号」で迎えられます。みんなの思い出に残るような素敵な本の出会いが「あおぞら号」にありますよ！



編集後記

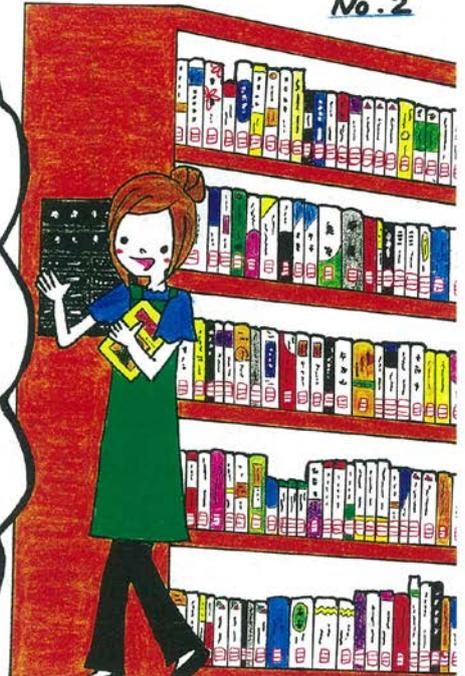
毎日、暑いですね。夏本番です!!
これからの時期、食べる機会が増えるのが、アイスクリームやかき氷などに合います。図書館には、冷めたアイスやレシポ本もはいてあります。今年の夏は、オリジナルアイスやかき氷にチャレンジしてみませんか？

平成26年8月1日
下松市立図書館発行

本びより

No.2

おかげさまで、本びよりNo.1大好評でした!!
ありがとうございます。No.2もぜひご覧ください。😊



『本びより』毎月発行している『新刊案内』とは別に、図書館の事を知ってもらおうと、不定期で発行している図書館職員手書きのチラシです。

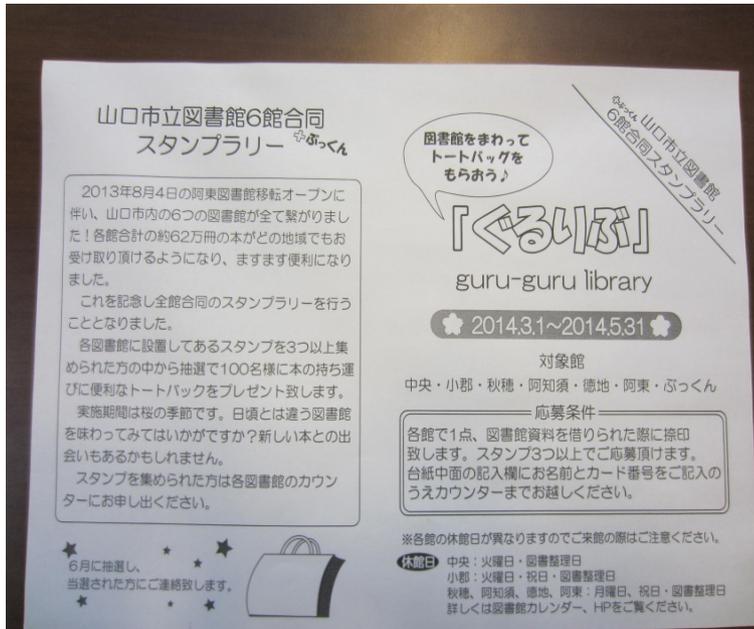
レファレンス・コーナーでは、その時々にあわせてテーマを決めています。

普段利用されていない方にも知ってもらおうと、あおぞら号リポートも掲載。

裏面では、図書館職員がおススメの本を紹介しています。

山口市立図書館 6館合同スタンプラリー

山口市立図書館



山口市内には、6つの図書館と2台の移動図書館「ぶっくん」があります。各館、それぞれ特徴があり、スタンプラリーをきっかけに本との出会い、図書館との出会いを楽しんでいただけたらと思い企画しました。

さくらの季節に実施したので、ドライブがてらスタンプラリーに参加して下さったご家族もたくさんいらっしゃいました。子どもたちも自分でスタンプを押したりと図書館での楽しいひと時を過ごしていたようでした。

本と友達になろう！ほんともカード

山陽小野田市立厚狭図書館

熱心な子は毎日図書館にやってきます。
「がんばってるね」と声をかけると、うれしそうな笑顔をみせるのが印象的です。



子どもたちにもっと本に親しんでもらうことを目的に毎年夏休みの期間に実施しています。

マンガ以外の本をかりるとき、カードにスタンプを押します。

スタンプは1日1個まで。

スタンプが6つたまるとちょっとしたプレゼントを渡しています。

今年も200人以上の子どもが参加してくれました。

普段図書館を利用しない子どもや読書をしない子どもが本を読むきっかけになればと思っています。

どんな本がいい？子ども選書会

山陽小野田市立厚狭図書館



みんなでわいわい、実際に本を
開いて吟味中。
購入してほしい本に目印の
しおりをさみます。

横山さんによる本の紹介。
心おとる本に子どもたちは
夢中です。



今年で2回目の開催です。

図書館にあるといい本、他の人にも読んでもらいたい本などを子どもたちに選んでもらいました。個人で1冊、グループで3冊。グループではみんなで相談しながら決めます。選んでもらった本は図書館に新刊図書として購入予定です。

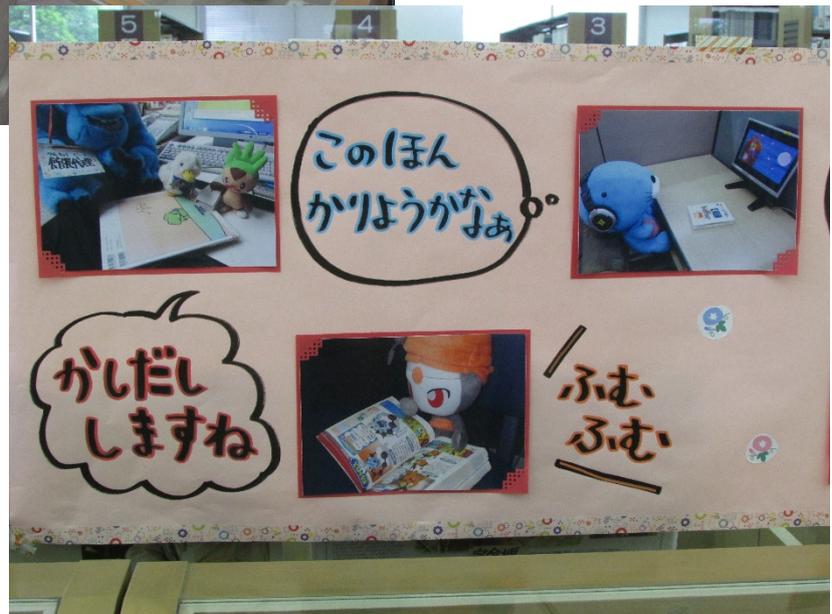
また、「子どもの広場」代表の横山眞佐子さんをお招きし、おもしろい本や感動する本などの紹介をしていただき、子どもたちは選書の参考にしていました。

子どもたちは横山さんの紹介した本に興味津々で、その場で仲良くなった子と本を広げ、内容を吟味していました。

今後も図書館が子どもたちの新たな本や読書の楽しみを共有する友達との出会いの場になってくれればと思います。

ぬいぐるみの図書館お泊り会写真展

山陽小野田市立中央図書館



今年7月に実施した「ぬいぐるみの図書館お泊り会」の様子を写真で紹介。今年は募集開始一日目で受付が終了するほどの人気でした。子どもたちはどの子も自分のぬいぐるみが読んでいる絵本を借りて帰ります。本に無関心な子どもや本嫌いな子どもにも効果的。

大人も楽しい絵本のコーナー

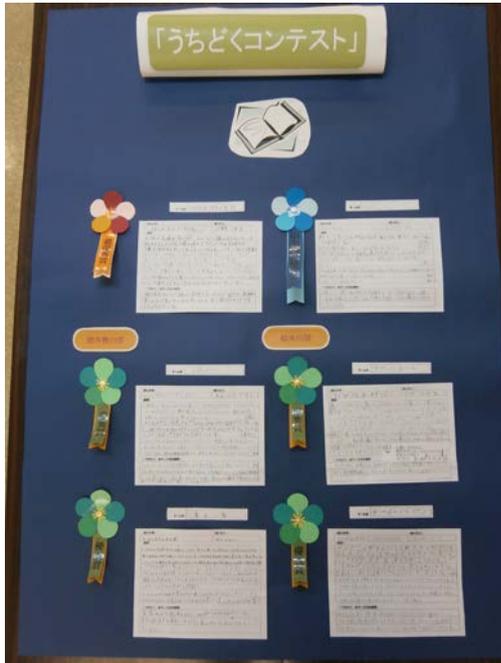
山陽小野田市立中央図書館



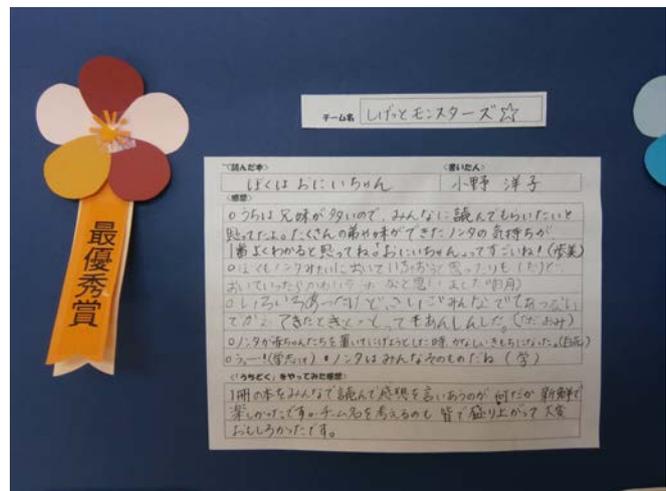
絵本は、ちっちゃな子どもから年齢制限なしで楽しめるメディア。これまで子どもの本のコーナーにあった絵本の中から大人も楽しめる絵本を抜き出し、このコーナーを設置しました。

「うちどくコンテスト」

周南市立中央図書館



応募総数 140件



2名以上の家族（親子、兄弟、祖父母など）で、「同じ本を読んで、感想を書く」というルールで募集。

「うちどく」をやってみた感想では、「家族で共通の話題が出来た」「同じ本なのに、それぞれが違った感想をもっていておもしろかった」など、1冊の本を通して家族が語り合い、楽しい時間を過ごせたことが伝わってきました。

このコンテストをきっかけに、親子で読書に関心を持ってもらえたことと思います。

絵本の福袋

萩市立萩図書館



絵本カバーでバッグを手作り!!
中に絵本を入れている。

対象年齢別に本を分けて展示



年末年始の企画で『絵本の福袋』の企画を実施。

絵本カバーでバッグを職員で手作り、バッグの中に絵本を入れてバッグはプレゼントする。対象年齢別に展示し、バッグにタグで対象年齢と本のテーマを表示した。

絵本は3冊入れて、1人1日1袋に限定した。

100セット以上作成したが、予定より早く無くなった。大人用も欲しいとの声があり、今年度は大人用の福袋も作成予定である。

テーマ④ 読書推進の工夫

児童書特集

萩市立萩図書館



児童書特集コーナーを常設。小学生向けの図書を中心に毎回テーマを決めて展示。展示期間は3ヶ月。毎回子どもたちに分かりやすいテーマにしている。また、内容が小説や分類に大きく偏らない様にテーマを考えている。展示のポップ大きく目立つように工夫をしている。

本の帯アイデア展

萩市立萩図書館

萩図書館では手作りの本の帯を募集しています。..
友達や家族におすすめしたい本
一番好きな本..
そんなとっておきの一冊にかける
本の帯を作ってみませんか?..
応募締切9月10日(水)まで

第四回

本の帯アイデア展

作品募集中!

平成25年
中学・高校生の部 最優秀賞

平成25年
小学生以下の部 最優秀賞

平成25年
一般の部 最優秀賞

萩 あいふり

萩図書館

開館時間 522番地2 TEL 0838-25-8355 URL http://hagi-city.jp/lib/
開館時間 午前9時～午後2時
主催 NPO法人あふり読書会 共催 萩図書館

「本の帯アイデア展」と題して、自分のお気に入りの本にオリジナルの帯を作ってもらい、友達や周りの人にPRする、というイベントを毎年行っている（今年で4回目）。作品を展示して利用者に投票してもらっているが、同世代の子どもが作った作品や本に興味を持つ小・中学生の姿が見られる。本を読み、その本の好きなどところを表現する場を今後も提供していきたい。

「マタニティブックスタート」「マタニティ絵本カフェ」 「子育て支援情報コーナー」の案内

山陽小野田市立中央図書館



山陽小野田市は全国に先駆けて「マタニティブックスタート」を実施した自治体です。妊婦さんには、2冊の絵本から1冊を選んでいただき、絵本作家あべ弘士さんのオリジナルデザインバッグに入れてお渡ししています。この事業に合わせて、今年度から「マタニティ絵本カフェ」を始めました。また、一緒に「子育て支援情報コーナー」の案内もしています。

あなたの子育て応援します

萩市立萩図書館

「情報エトセトラ」として、市内で行われる子どもが参加できる行事などを掲示



子育てガイドブックや乳幼児健診の案内などを展示

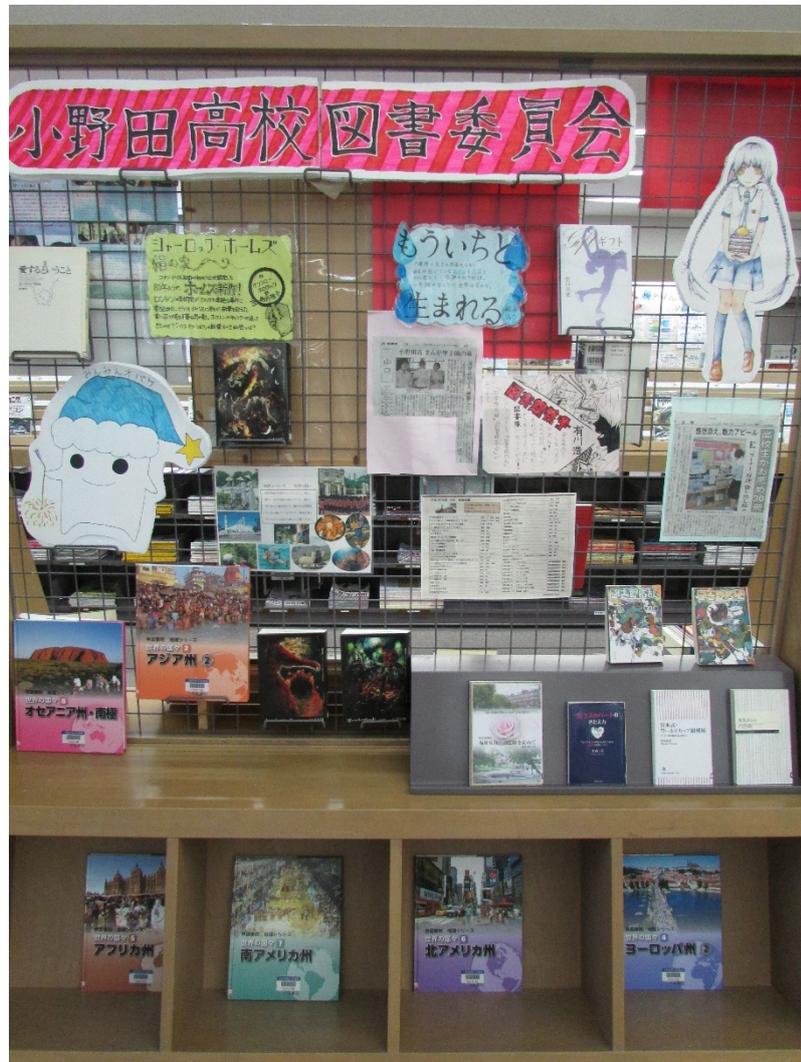


年齢にあった絵本を紹介している資料や子育てに関する資料を展示

「あなたの子育て応援します」というタイトルで育児支援コーナーを作った。図書館が子育て支援課や健康増進課と連携して、それぞれの課が発行している子育てガイドブックや乳幼児健診の案内などを展示し、その資料は自由に持って帰れるようになっている。また「情報エトセトラ」として、市内で行われる行事も掲示をして情報提供をしている。そして、乳幼児や子育てに関する資料を子ども図書館で一括して貸出しできるようにした。この育児支援コーナーは好評で、ゆっくり過ごす親子が増えた。

市内高等学校図書委員によるオススメ本コーナー

山陽小野田市立中央図書館



市内高等学校図書委員によるおすすめ本のコーナーを昨年度から実施。今年度はサビエル高等学校も参加。ポップやディスプレイなども図書委員にお任せしています。同年代の子どもたちや大人にも人気です。

隣接の歴史民俗資料館とのコラボ展示

山陽小野田市立中央図書館



図書館に隣接する歴史民俗資料館の企画展等に合わせ関連資料を展示。内容は変わりますが、常設展示です。

テーマ⑥ 地域との連携の工夫

サッカーチーム「レノファ山口」応援コーナー

山陽小野田市立中央図書館



市内のサッカーグラウンドがホームグラウンドの一つとなったことから、「レノファ山口」の関連資料コーナーを作りました。「レノファ山口」からいただいた選手全員のサイン入りユニフォームやフラッグもサッカー関係の本とともに展示しています。

わくわく！ドキドキ！おはなし会

田布施町立田布施図書館



田布施農工高等学校の高校生が、村上悦子先生の指導のもと
毎月1回、わくわく！ドキドキ！の楽しいおはなし会を実施。
新聞紙の工作！うまくできるかな？！
本に親しみ、ふれあいを通して、ゆたかな心が育まれていく。